

# 【日本史B】

## 問題のねらい, 主に問いたい資質・能力及び小問正答率（速報値）等

### 第1問 問題のねらい

日本の前近代における会議や意思決定の在り方をテーマとして, 学習者の探究活動の場面を設定し, 資料に基づき各時代の特徴をとらえ, 歴史的事象の背景を考察する力を問う。また, 問1～問4の内容に基づき, 歴史上の出来事と現在との関係を考察する力を問う。

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)	
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力			
問1	1	(1) 原始・古代の日本と東アジア ア 歴史と資料	文字資料から目的に応じた情報を読み取る技能		歴史資料から古代の会議の特徴を示す情報を読み取る。	61.6
問2	2	(2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成	中世武家社会の特徴と御成敗式目についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から評定衆の会議運営の特徴を見だし, その特徴を説明する際に, 用いるべき資料中の適切な文言の選択と選択した理由を示す。	69.6
問3	3		中世の惣村についての理解	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	惣村の分析を通して, その構造をとらえ, 資料に基づき中世という時代を大きくとらえ, 惣村の特徴を推論する。	65.3
問4	4	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	戦国時代の自治都市についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から情報を読み取り, 情報をまとめて自治都市の構造を概念的にとらえ, 模式図として示す。	52.9
問5	5		古代・中世における会議についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	問1～問4の内容に基づき, 古代・中世の会議や意思決定に関わる内容と現在の在り方とを比較し, 事象の継続性をとらえる。	39.6

第2問A 問題のねらい

邪馬台国に関して、複数の解釈に基づいた推論や資料からその時代の様々な人々の立場を読み解く力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	6	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	古代国家が形成される過程についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	邪馬台国所在地論争の意味や意義について習得した知識を基に、近畿説の立場に立って歴史事象の推移を考察する。	79.0
問2	7		邪馬台国の社会構造についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	『魏志』倭人伝から、人物が置かれた立場を読み取り、当時の人々の考えを推論する。	68.4

第2問B 問題のねらい

日本の国号をテーマとして、複数の資料から情報を取り出し、情報を整理し、東アジア世界の国際関係を踏まえて事象の要因を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問3	8	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	6世紀の東アジア情勢の理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	中国の資料に描かれた倭国使・百濟使の姿の差異性を見だし、6世紀前半の東アジアの国際関係に着目して、差異性が生じた理由を考察する。	52.4
問4	9	(1) 原始・古代の日本と東アジア ウ 古代国家の推移と社会の変化	浄土教信仰の特徴についての理解	/	仏教の展開過程を踏まえ、資料に象徴された仏教信仰と同様の性格を持つ文化財をとらえる。	30.4

第3問A 問題のねらい

荘園絵図を題材として、資料に基づいて歴史的事象を時系列的にとらえ、資料と歴史的事象の関わりを考察する力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1 10	(2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成	荘園制の展開についての理解	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	下地中分の意味や意義を踏まえ、土地制度史の変遷という時系列的展開の中で歴史事象をとらえる。	36.0
問2 11		下地中分についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から事象の特徴を読み取り、その特徴が表れた理由を資料に基づいて推論する。	48.7
問3 12	(1) 原始・古代の日本と東アジア ア 歴史と資料	図資料と文字資料から目的に応じた情報を読み取る技能		絵図資料から読み取れることと読み取れないことをとらえる。	59.7

第3問B 問題のねらい

仏堂を題材として、古代から近世にかけての長い時間軸で、仏教の社会的役割の変遷を踏まえ、歴史的事象の変化や推移をとらえる力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問4 13	(1) 原始・古代の日本と東アジア ア 日本文化の黎明と古代国家の形成 ウ 古代国家の推移と社会の変化 (2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	古代から近世にかけて、仏教が果たした社会的役割についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	古代から近世にかけて仏堂の構造が変化する歴史的背景を、仏教の展開と社会的役割の変化を関連付けて考察する。	29.0

第4問A 問題のねらい

大名をテーマとして、近世大名と戦国大名を比較し、差異性をとらえたり、ある説を支持する立場から歴史的事象の展開を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	14	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開 (3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	戦国大名と近世大名の特徴についての理解		戦国大名と江戸時代の大名の比較を通して、両者の差異性をとらえる。	65.8
問2	15	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容	近世大名の領国意識の変化についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	近世大名の意識が変化したことを仮説として、仮説に基づき近世大名と歴史的事象との関係を推論する。	49.4
問3	16		江戸時代の社会事象の推移と藩政改革についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	近世の藩政改革について、改革が必要となった背景と施策の内容を関連付ける。	37.2

第4問B 問題のねらい

今日の社会事象の遠因を近世の歴史的事象に求め、その事象が生じた歴史的背景を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問4	17	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容	近世の流通体系についての理解	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	今日の昆布消費量の地域的特徴が形成された理由を近世の流通や外交に求め、歴史的背景を考察する。	39.8

### 第5問A 問題のねらい

時代の転換をテーマとした学習過程を設定し、歴史事象の評価は必ずしも一義的に定まるのではなく多様な解釈が存在することを踏まえ、因果関係、事象の意味や意義を考察したり、根拠付けることができる力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	(4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立	ペリー来航前後の国際関係についての理解	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	ペリー来航前後の歴史的事象の関係性について、日本国内の状況とアメリカの状況を踏まえて、多面的・多角的に考察する。	34.3
問2		日米修好通商条約についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	日米修好通商条約締結時の幕府の対応について、異なる評価の根拠となる歴史的事象をとらえる。	43.4
問3		幕末期の国内情勢についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	歴史の転換点となる事象の意義を考察し、時代の画期を判断し、その理由を示す。	44.2

### 第5問B 問題のねらい

立憲政治成立の過程を示す絵画資料を題材として、資料から情報を取り出したり、与えられた課題を解決するために必要な情報をとらえる力を問う。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問4	(4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立	資料から目的に応じた情報を読み取る技能		帝国議会が開設される過程を示した絵画資料から情報を読み取り、資料が示す主題をとらえる。	54.2
問5	(4) 近代日本の形成と世界 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開	歴史的事象の考察のために必要な資料を選択する技能		戦前期における選挙権の拡大を説明するという課題について、解決に向けた情報をとらえる。	50.0

### 第6問A 問題のねらい

製造工業生産額の増加に対する各工業の寄与率に関するグラフを題材として、長い時間軸で近代日本の産業構造の特徴を見いだしたり、グラフから読み取ったある時期の国内産業の特徴と貿易との関係性を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	24	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化 (5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本	近代日本の代表的産業の推移についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	グラフから各工業の寄与率の変化の特徴をとらえ、長い時間軸で近代日本の産業構造の推移や変化を考察する。	48.1
問2	25	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化	産業革命期における産業と貿易の特徴についての理解	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	グラフから読み取った情報と国内産業や海外との貿易に関する歴史的事象とを関連付ける。	31.3
問3	26	(5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会 ウ 第二次世界大戦と日本	戦時期における産業構造の特徴についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	グラフから産業構造の変化をとらえ、当該期の経済政策の特徴を、資料に基づいてとらえる。	38.6

### 第6問B 問題のねらい

戦時期の文化と国民生活について、歴史的事象の背景を複合的にとらえ、多面的・多角的に考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問4	27	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ウ 第二次世界大戦と日本	戦時期の社会についての理解	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	作品解説を手がかりに、美術作品の特徴をとらえ、作品が描かれた時期と社会背景について多面的・多角的に考察する。	45.2
問5	28		終戦直後の各地の様相についての理解	/	敗戦直後に日本人が置かれた状況とその事象が起こった地域をとらえる。	79.3

第6問C 問題のねらい

1955年を戦後の一つの画期としてとらえ、政治、経済、社会などを多面的・多角的にとらえる力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力		
問6	29	(6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変 化	高度経済成長 と貿易の特徴 についての理 解		戦後経済の特徴を歴史の 推移の中でとらえる。	21.0
問7	30		1955年に展開 した政治・外 交分野につい ての理解		戦後期の政治・外交につ いて、歴史事象の内容をと らえる。	25.6
問8	31		貿易の自由化 が進む国際社 会と日本との 関係について の理解	諸地域世界の接触や交流 などが歴史的事象にどのよ うに作用したのかを明らか にすることができる。(事 象相互のつながり)	統計表を基に戦後の食料 自給率の推移を、貿易の自 由化と関連付け、時系列的 にとらえ、その要因を考察 する。	65.3